

各教育事務所長
各市町村教育長 様
各小・中・特別支援学校長

熊本県学校事務研究協議会会長 上田 千浩

第41回熊本県学校事務研究大会の開催について（通知）

陽春の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
日頃より本会の研究活動につきましては、ご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。
さて、第41回熊本県学校事務研究大会を、下記のとおり開催することになりました。
つきましては、貴所属職員の参加について格別のご配慮を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

記

- 1 大会テーマ **変革の時代に対応する学校事務の創造**
— 子どもの豊かな育ちを支援する学校事務 —
- 2 目的 (1)地域とともにある学校づくり及び教育活動を支援するために、組織的
取組を通して学校事務職員の集団的力量的向上を図る。
(2)学校事務改善の研究を深め、学校経営の一翼を担う職員としての資質
向上を図る。
- 3 主催 熊本県学校事務研究協議会
- 4 後援 熊本県教育委員会、熊本県市町村教育委員会連絡協議会、熊本市教育委員会、
熊本県小中学校長会、熊本県PTA連合会、(公財)日本教育公務員弘済会熊本支部
- 5 参加対象者 小・中・特別支援学校の学校事務職員(県費及び市町村費)、学校事務担当者、
県教育委員会・市町村教育委員会職員、その他参加希望者
- 6 期 日 平成28年6月17日(金)
- 7 場 所 火の君文化センター(熊本市南区城南町) (☎0964-28-1800)
- 8 日 程

	13:00	13:20	13:30	14:10	15:00	15:10	16:30
6月17日 (金)	受付		開会 大会行事	総会行事	全体研究会 ① 全事研セミナー参加報告 20分 ② 全事研熊本大会熊本支部発表 40分 ③ 研究部「熊本版学校事務グランドデ ザイン」第一次提案 20分		

※ 大会行事中は、来賓の方に失礼になるため途中での入場はできません。ご承知おきください。

9 全体研究会

①全事研セミナー参加報告

②全事研熊本大会熊本支部発表報告

『理想の学校づくりにおける事務職員の役割』

(全国公立小中学校事務研究大会熊本大会分科会発表部)

③研究部「熊本版学校事務グランドデザイン」第一次提案

10 資料代（参加費） 無料

11 参加者の申込み方法 参加申込書締切 平成28年5月13日（金）

県内参加者 ①各地区理事へ下記「参加申込書」の様式で申し込んでください。

県外参加者 ①県外等会員以外の参加は、郵送またはFAXで申し込んでください。

②参加申込みは下記「参加申込書」の様式をお願いします。

【申込み先】

〒869-3603 上天草市大矢野町中 1918 番地 上天草市立中北小学校 山崎 公貴
Tel. 0964-56-0149 Fax. 0964-56-4995
e-mail nakakita-jim@edu.kamiamakusa-city.jp
熊事研HP <http://ws.higo.ed.jp/jimuken/>

【問い合わせ先】

〒861-4301 下益城郡美里町馬場 537-1 美里町立中央小学校 中村 勝美
Tel. 0964-46-2004 Fax. 0964-46-3937
e-mail nakamura-k15@tsubaki.higo.ed.jp

12 その他

① 会場の駐車場には限りがありますので、できるだけ乗り合わせて来場してください。

② 会場内での飲食・喫煙等は、会場の指示に従い、マナーの順守をお願いします。

第41回熊本県学校事務研究大会 参加申込書

所属名	氏名	備考

*所属・氏名を記入してください。

*会員以外（県外等）の参加者は、下記もご記入ください。

※所在地は都道府県名からご記入ください。 ※複数名でお申込をされる場合は代表者の方がご記入ください。

所属所在地					
所属電話番号	—	—	所属FAX番号	—	—

① 全事研セミナー参加報告

平成 28 年 2 月に東京都北区北とびあで開催された、全事研セミナーの参加報告を行います。

「地域とともにある学校づくり」の主体は、学校・家庭（保護者）・地域にとどまらず、関係する教育行政機関や自治体、企業やNPOなど幅広く捉えられます。急激な社会情勢の変化に伴い、家庭（保護者）・地域の教育に対する価値観やニーズも多様化している今日において、学校は家庭（保護者）・地域や関係諸団体などの主体とともに、互いの信頼を深めて質の高い教育活動を展開していくための、自主的で自律的な統治の在り方を精力的に模索していく必要があります。

自律的な学校経営と学校のガバナンス改革を推進していくための学校事務の機能強化や事務職員が果たしていくことができる役割について考えていきます。

② 『理想の学校づくりにおける事務職員の役割』

全国公立小中学校事務研究大会熊本大会分科会発表部

全事研熊本大会の発表は、「理想の学校づくりにおける事務職員の役割」のテーマのもとに、次の内容で実施します。

これからの学校には、地域とつながり特色ある学校づくりを行うこと、そのためには学校が自らで意思形成し、意思決定することが求められています。それを実現するためには、学校が現在持っている教育資源に対する裁量を有効に活用していくことが重要です。しかし、学校は裁量を十分に活用できていないのが現状です。そこで、裁量を有効に活用できる学校になるために必要な組織機能とはどのようなものかについて考えました。研究を進めていくなかで、現在の学校にはない、新たな組織機能があることに気づきました。今回はそのなかの一つである、事務部の機能として最も裁量を発揮でき、身近で教育課程と直結し学校教育目標を達成できる学校財務と学校にとって最も現実味がある裁量の行使度の最も高い「総額裁量制」を一つの例として、学校がR P D C Aサイクルを動かしていくために必要な組織機能について提案します。

また、学校が裁量を行使していくために必要な、学校事務機能の重要かつ新たな領域について具体的に整理していきます。しかし、事務機能の中心的な役割を事務職員が担っていく上で、個人のキャリアの差が影響してきます。その課題を解決する一つの手段として、仕事の内容や大きさによっては事務組織の一つである共同実施や事務センターが担っていく役割が重要となってきます。そのためにこれらの事務組織に必要な組織機能についても考えていきたいと思えます。

③ 「熊本版学校事務グランドデザイン」第一次提案

熊事研研究部

研究部では、全事研熊本大会の発表を踏まえ、これからの事務職員の新たな役割についてより具体的に示すために「熊本版学校事務グランドデザイン」の策定に取り組んでいます。ここ数年、私たち事務職員を取り巻く状況は大きく変化しています。新たな任用制度、学校事務センターの導入、そして中教審における「チームとしての学校の在り方」の中で、事務職員の役割の重要性が述べられています。そのような時代の中で、私たち事務職員がこれからの学校の中でどのような役割を果たしていくべきかを考え、行動していくことが必要です。そこで、その指標となるべくものとして「熊本版学校事務グランドデザイン」を提案します。今回は、第一次提案として骨子について提案します。2月の大会では、その詳細について皆様に提案いたします。

大会開催中は混雑が予想されます。時間に余裕をもって会場へお越しください。

熊本県学校事務研究協議会

